

未来ファンドおうみ通信

NO. 2

2015年12月1日発行
淡海ネットワークセンター

<http://www.ohmi-net.com/>

中間報告・相談会を開催しました

10月17日（土）13:00から、滋賀県立県民交流センター（ピアザ淡海）において、「2015年度未来ファンドおうみ採択団体の中間報告・相談会」を開催しました。



各団体から進捗状況についての報告



写真で活動の紹介

最初に、各団体から進捗状況と抱えている課題について報告がありました。

その後、助成基金ごとのグループに分かれて話し合いをしました。



運営委員、アドバイザー、寄付者のみなさんもお参加いただきました。

おうみ NPO 活動基金
びわこ市民活動応援基金
助成団体グループ



ナカザワ NEO フレンドシップ基金
助成団体グループ



びわこの日基金
積水化成品基金
笑顔あふれるコープしが基金
助成団体グループ

2015 採択団体の活動

ナカザワ NEO フレンドシップ基金助成

甲賀市国際交流協会

今までの経験やノウハウを活かし、それぞれの地域で多文化共生のまちづくりができるよう「ともにいきる地域づくりのための“人”“メニュー”開発事業」に取り組んでいます。

6月に「ともにいきる地域づくりサポーター」の募集をおこない、7月のサポーター説明会には17名が参加してこの事業の趣旨を共有し、今後の進め方を話し合いました。



その後のサポーター会議は、第1回（8月）が「多文化共生社会づくりのための基礎講座」で8名参加、第2回（8月）が、「ともにいきる地域づくりメニュー作成①」で10名参加、第3回（9月）が「ともにいきる地域づくりメニュー作成②」で14名参加、第4回（9月）が「メニュー紹介およびサポーター登録等意見交換会」で9名が参加しました。こうして作成されたメニューは、10月下旬に区や自治会、自治振興会、学校、企業等に広報をおこない、11月からメニューの実施と、試行としてのサポーター派遣をしています。

今後の予定としては、2月にサポーター登録説明会、3月にサポーターの交流会を開催することになっています。

びわこ市民活動応援基金助成

ハートフルガーデナー

園芸福祉おおつ

花と緑を通して、幸せを地域に広げる園芸福祉活動を大津市内で展開しようと、園芸を愛する有志で、2008年1月に結成されました。

今年度の活動は、身障者の授産通所施設2か所と、高齢者が通うディケアセンター2か所に設けた花壇の花苗の植え付けを通所者と一緒におこなっています。また、大津駅前や湖岸なぎさ公園の花壇の維持にも携わっています。



なお、花壇経営を休む冬季の2月には、「園芸学習会」が予定されています。

2015 採択団体の活動

おうみ NPO 活動基金助成

NPO 法人家棟川流域観光船

家棟川から大量のゴミが琵琶湖に流れ出ている現状を見て、この川をきれいにするためにNPO法人家棟川流域観光船が設立されました。

活動は、川やびわ湖のゴミを大舟で月2回程度回収しています。その結果、不法投棄はなくなり、観光客をのせて遊覧できる川が維持できるようになりました。これまで5000人以上の人が遊覧に参加しました。希望者には民宿で漁師料理を提供しています。



今年の8月には、県や専門家も参加して「家棟川・童子川・中の池川のピワマスを遡上させるプロジェクト」を結成しました。また、琵琶湖環境科学研究センターの指導で、水源の山から琵琶湖まで8ヶ所で、春・夏・秋に生態調査を実施し、貴重なデータを得ることができました。

助成金を活用した写真集の作成は、第1次案ができたので、市民に展示して意見を求めています。第2次案には教育委員会の意見も聞いて作成し、再び市民に展示して、2月ごろに印刷する計画です。

なお、舟の修理は、冬期に若い船頭を雇っておこなう予定です。

ナカザワ NEO フレンドシップ基金助成

鹿深 de ござれ!

甲賀市に住む定住外国人が集中する水口町において「異文化コミュニケーション」を中心に、生活習慣・料理・文化・歴史・言語など、あらゆる切り口からワークショップやイベントを開催することで、互いの文化を尊重し理解を深め合えることを目的として活動しています。

主な活動は、○○○deコミュニケーションによる外国人住民との交流、甲賀市市民協働事業による外国人住民と地域住民との交流の促進、多文化共生視点の他団体との交流、自立的事業の展開(貸館・場づくり、民泊など)です。

助成金を活用して、10月に防災・医療などの視点からのワールドカフェの実施、11月に音楽会や食事会がおこなわれました。

このようにして、外国人住民と地元住民の出逢いのプロセスを大切にしたい協働作業づくりをおこなっています。



2015 採択団体の活動

笑顔あふれるコープしが基金助成

MOMO やす

野洲市内でどのような食材が作られているのか知らない人達（特に若い世代）が多く、核家族化により生産現場に触れる機会も少ない現状を知り、地域の食材や生産現場に触れる機会を提供する親子体験型ツアーを企画し開催しています。



春ツアー（北川製茶、茶摘み体験）は、10組29名の参加、夏ツアー（南農園、梨・ブルーベリー収穫体験）は、13組44参加、秋ツアー（三上神社ずいき祭りの御輿づくり見学と味噌づくり体験）は、10組31名の参加でした。

このように、地元生産者の生産現場の見学、収穫体験、調理体験を通じて、野洲の食材の魅力を発信しています。また、子ども達にとっては、体験をすることがとても大事な食育となっています。

びわこ市民活動応援基金助成

湖北田舎暮らしフェスタ 実行委員会

田舎暮らしを希望する都市生活者などに、田舎暮らしのフィールドとしての湖北の魅力小提示し、湖北への移住・交流を促進しています。

11月に余呉湖畔で開催されたフェスタは今年で7回目を迎えました。当日は、余呉湖まつりと同時開催による地元食材の紹介や地域の人のふれあい、そして、川並集落の散策と空き家見学、女子会トークなどがおこなわれました。



湖北での住まいや仕事、環境、文化、行政サービスなど、快適な暮らしに必要な各種の情報を的確に提供できるように、日々の活動やフェスタを通じて、田舎暮らし希望者と地元の地域づくり団体や行政、各種団体との仲介・連携を図っています。

お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）

TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442、e-mail:office@ohmi-net.com